

## 岩手の風土記シリーズ（14） 松川のだんだん水路

7月の末のある日、TVで三ツ石神社恒例の「奉納さんさ」が開催されたニュースが流れていた。そういえば例年であれば、市内のあちらこちらから太鼓や笛の音が鳴り響いていて、「ヤッコラチヨイは、ヤッセイ！」の掛け声が聞こえてくる頃のはずであった。今年「盛岡さんさ」も中止となり、気候変動の影響か天候不順も続き、夏らしい夏を体感しないまま、お盆を迎えようとしている。さて、今回は5月に放送された某民放の

「ナニコレ珍百景」で川の階段として取り上げられた「松川のだんだん水路」を紹介しよう。この場所は何を隠そう筆者のウォーキングのコースであり、春夏秋を通じていろいろな顔を見せてくれる隠れた憩いの場所でもある。このだんだん水路とその周辺の名所およびグルメスポットを紹介しよう。



【だんだん水路】

「松川のだんだん水路」とは、松川温水路といって、太陽の熱を使って水温を高めるための施設で、全長約4kmにも及ぶ、人工の水路である。このうち上流側約2kmが



【早春の温水路】

【夏の温水路】

【紅葉の温水路】

明治百年記念公園として、遊歩道が整備されている。松川は八幡平を水源としているため、雪解け水が豊富で水温もかなり低めである。この松川の雪解け水をそのまま田んぼで使うには水温が低いため、人工的に階段状の水路を通して水温を上げている。水稻では17℃以下では冷害障害が起こるといわれているところから、水温上昇をさせる施設としてこの温水路が設置され、約3℃の水温上昇が見込まれている。この

温水路は冬場は水を流さないため。実質4月～11月までの期間限定のものとなっている。この温水路は、明治百年記念公園として、平成23年に小水力発電の稼働を伴って整備されたものである。この公園には様々な樹木が植樹されていて、ツツジ、夏はシラカバ、アジサイ、秋はカエデ、クリ、ドングリ等が季節ごとに彩を添えてくれる。



【早春の遊歩道】



【初夏の遊歩道】



【秋の紅葉】



【フキノトウ】



【キノコの群生】



【クリの実】

リ、ドングリ等が季節毎に彩を添えてくれる。また、カタクリやワラビ、各種キノコ類、クリの実などいろいろな恵みを与えてくるのも楽しみである。さらにこの温水路では環境



【水車型発電機】



【1号発電機】

に配慮した取り組みとして、小水力小型発電を行っていて、3基の発電機を設置している。1号機は上流にあり、2号機は水車方式で公園のシンボルともなっている。また3号機は少し離れた下流にあり公園の外に設置されている。この2号機の水車方式では最大9.9kwの発電が可能で、おおよそ14世帯分の電気を賄うことができるようだ。また1号機と3号機は農業用水路設置型パワーアルキメデス(高落差圧力管タイプ)を小水力発電システムに採用している。下世話なはなしで恐縮だが、投資回収にはどのくらいを見込んでいるのか興味深いところである。この小水力小型発電システムは、いわゆるグリーン電力として通用するもので、設置当初は結構県内外から視察に来る人が多かったようである。ちなみに松川には別のグリーン電力である地熱発電所がいくつかあるので興味のある方は訪れてはいかがか？



【妻の神キャンプ場】



【松ちゃん市場】



【産直アスピーテ】

さて最後に近隣のお勧めスポットを紹介しよう。まずは妻の神ミニオートキャンプ場である。松川の川沿いにある知る人ぞ知るキャンプ場である。夏場の週末にはテントがいくつも見受けられた、車でふらっと行って、松川を散策してお弁当を広げてみるのもいいかと思う。次は産直である、近くには「松ちゃん市場」や「産直アスピーテ」などがあり、季節ごとの野菜、果物、山菜、キノコ等を購入できる。筆者もリンゴやキノコなどを調達しにちよくちよく顔を出している。最後にお勧めのグルメスポットを紹介しよう。まずは水車のある交差点のすぐそばにある「レストランこかげ」、地元の人たちもよく通うお店である。この店で一番人気は「ラムステーキ」であり、筆者のお勧めは「ナムプリックパオ」というタイの調味料を使ったタイ風チャーハンである。また、産直アスピーテ



【レストランこかげ】

の近くに多国籍料理の店で知る人ぞ知る「らんぷ」も有名である。また、「森のイタリアン・ラミアマンマ」もご近所である。さらに県道沿いにある焼き肉レストラン「FABIO」は、八幡平サーモンを提供しているお店として最近注目されている。さらに近くには中山

荘や森の湯等の八幡平温泉郷や松川温泉郷があり、我々高齢者に憩いを与えてくれるスポットとなっている。ぜひ一度立ち寄ってみてはいかがか？その際は松川の河原でお弁当を広げるもよし、また近くのレストランで食事するもよし、これからはマイナスオン浴や森林浴にもってこいの季節、心身ともにリフレッシュしにでかけてみませんか？